

岡山市立小学校教諭の懲戒等について

令和7年7月8日開催の教育委員会臨時会において、以下のとおり決定しましたのでお知らせします。

1 被処分者

岡山市立小学校 教諭 20歳代 男性

2 処分内容

停職5月

3 事案の概要

当該教諭は、令和7年6月20日(金)19時30分頃から21日(土)午前1時頃まで飲酒したのち自家用車を運転しました。警察の検問により呼気1リットル中に基準値以上のアルコールが検出され、酒気帯び運転として検挙されました。

その後、教育委員会が本人へ聞き取りを行い、事実を認めました。

4 処分理由

当該教諭がした行為は、全体の奉仕者として誠実且つ特に遵法の高精神と高い倫理性が求められる教育公務員にあるまじき極めて恥ずべき非行であり、市民の信用を失うだけでなく、岡山市の学校教育や岡山市立学校園に勤務する教職員に対する信頼や期待を著しく失墜させるものです。

よって、地方公務員法第29条第1項第1号及び第3号の懲戒事由該当として、処分を行うこととしました。

5 管理監督責任

上司である校長に対し、口頭厳重注意を行いました。

【教育長コメント】

教育関係者が、総力を挙げて不祥事の根絶に取り組んでいる中、懲戒処分を行うこととなったということを非常に重く受け止めております。まことに申し訳ございません。

今後、教職員に対する服務規律の徹底及び不祥事の再発防止に向けてより一層強力に取り組み、教育に対する信頼回復に努めてまいります。

令和7年7月8日

岡山市教育委員会教育長 三宅 泰司

【参考】

○ 地方公務員法(抜粋)

(懲戒)

第二十九条 職員が次の各号のいずれかに該当する場合には、当該職員に対し、懲戒処分として戒告、減給、停職又は免職の処分をすることができる。

一 この法律若しくは第五十七条に規定する特例を定めた法律又はこれらに基づく条例、地方公共団体の規則若しくは地方公共団体の機関の定める規程に違反した場合

三 全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあつた場合

○ 岡山市教育委員会懲戒処分の基準に関する規程(抜粋)

(懲戒処分の基準)

第2条 職員が行った行為が別表左欄に掲げる違反行為に該当するときは、当該職員が行った行為の動機、態様及び結果、故意又は過失の度合い、他の職員及び社会に与える影響、当該職員の職責、当該行為の前後における当該職員の態度等を考慮し、当該違反行為に応じ同表右欄に掲げる懲戒処分の種類のうち一の種類の懲戒処分(懲戒処分の種類が一である場合にあっては、当該種類の懲戒処分)を行うものとする。

別表(第2条関係)

違反行為			懲戒処分の種類
飲酒運転関係	酒気帯び運転	酒気帯び運転をすること。	免職、停職又は減給

【問い合わせ先】

岡山市 教職員課 高井・於東 直通086-803-1586 内線3831